

公益社団法人 NEXT VISION
令和 6 年度事業報告書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

I. 実施事業

1. 視覚障害者に対する直接支援事業（公益目的事業①）

（1）当事者向け講座、セミナー事業

遠隔で当事者、家族、支援者への情報提供を行い、地域性による情報格差を軽減し、全国の情報障害者を減らします。

1) ビジョンパークチャンネル

登録者数：1,100 人、公開コンテンツ：247 本

デジタルラウンジ、G-1 グランプリ、ロービジョンの集いなどのイベントをオンラインで開催し、動画および音声をビジョンパークチャンネルに公開しました。

<https://www.youtube.com/@nextvision3230>

（総評）

コロナ以降 Zoom を使ったオンライン開催を継続し、リアルタイムに参加できない方がいつでも視聴できるよう、ビジョンパークチャンネルでアーカイブ動画を公開したことでさらに多くの方に情報をお届けすることができています。

居住する地域を問わない情報処方を行うことができ、お一人お一人のニーズに合った情報提供及びテクノロジー支援を行いました。

参加者は視覚障害者だけでなく、支援者やご家族も含まれており、医療従事者や教育・福祉関係者、開発者等も含めてより多くの方に、情報提供およびロービジョンケアに関する理解を広めるために、得られた運営・開催方法に関する知見を活かして本事業を継続したいと考えます。

2) 研修

●デジタルラウンジ

開催日・テーマ又はゲスト名・オンライン参加人数・内容

2024/4/22・新アシスタント・寺田真弓さんの紹介・参加者：161 人

今年度からデジタルラウンジのアシスタントになった寺田真弓さんの紹介。寺田さんは生まれつきの脳性麻痺で車椅子ユーザーの旦那さんと 4 歳の息子と長野県在住です。これまでの経歴や現在行っている YouTube やユニバーサルツーリズムの発信活動についてお話を伺いました。

寺田さんの YouTube チャンネルはこちらです。

多様性バラエティー寺田家 TV

<https://www.youtube.com/channel/UCI4yBwvm17eA6VzkrGi9ljw>

2024/5/27・iPhone の文字入力 かな漢字変換の辞書登録の方法・参加者：155 人

井上直也さんによる iPhone の文字入力を能率よくするためのテクニックとして、かな漢字変換の辞書登録の方法を説明していただきました。

辞書登録でスムーズに入力ができるように学びましょう。

寄せられた質問は NEXT VISION のウェブページで回答しました。

<https://nextvision.or.jp/shikaku-it-ga/>

2024/6/24・Apple の新製品の特徴と展望・参加者：147 人

6 月に Apple は開発者向けカンファレンスとして WWDC を開催しています。

WWDC24 では、最新の iOS などの開発に関する新しい情報が紹介されました。

今回は、Apple Intelligence や Apple Vision Pro など、最新の Apple 製品の特徴や今後の展望について話しました。ロービジョンユーザーにとってどのような進化があるのか、ぜひ参考にしていただけたらと思います。

2024/7/22・トロンボーン奏者で日本ケアメイク協会理事長の山岸加奈子さん・参加者：163 人

全盲のトロンボーン奏者で日本ケアメイク協会理事長の山岸加奈子さんをスペシャルゲストにお迎えしました。

山岸さんは生まれつき視覚に障害を持ち、盲導犬と共に積極的に活動されています。ドキュメンタリー番組や映画、CM などに出演し、テレビ番組への楽曲提供も行っており、近年では、演奏活動の傍ら、ブラインドメイク講師としても活躍しています。これまでの人生や現在の活動、活動の中で活用しているアプリなどについてお聞きしました。

山岸加奈子さんのホームページはこちらです。

<http://born-music.com/media.html>

2024/8/26・Be My Eyes アプリ内の Be My AI 機能と写真アプリの管理法・参加者：189 人
テーマは Be My Eyes アプリ内の Be My AI 機能。

内容は他のアプリと連携してより便利に使える方法を解説。また併せて、井上さんが普段行っている写真アプリの管理法についてもご紹介いただきました。

Be My Eyes のダウンロードはこちらから（無料のアプリです）。

<https://apps.apple.com/jp/app/be-my-eyes-helping-blind-see/id905177575>

ぜひ、ダウンロードして試してみてください。

2024/9/30・Apple の新製品の特徴と展望・参加者：155 人

例年通り、Apple が新製品の発表イベントを開催しました。今年は iPhone 16、Apple Watch 10、AirPods 4 などが登場しています。

ヘルスケアや日常生活の改善に役立つ技術も多く見られます。

最新の情報をチェックし、生活をさらに快適にアップデートしてみましょう！

2024/10/28・ゲームを通じて人生を豊かにしてきた熊澤明さん・参加者：156 人

神戸アイライト協会の熊澤明さんをスペシャルゲストにお迎えしました。熊澤さんが幼少期からゲームを通じてどのように人生を歩んでこられたかを伺い、ゲームが仕事や日常生活のすべてに通じていること、一つのことを追求する素晴らしさを改めて感じる内容となっています。また、普段使用されているアプリの活用方法についてもお話いただきました。

また、熊澤さんは視力を用いずプレイ可能な家庭用ゲームソフトのご紹介と視力を用いず利用可能な Windows アプリの開発についても、下記 YouTube チャンネルにて発信しています。

YouTube チャンネル【良藝館 公式】

<https://www.youtube.com/channel/UCHsJJayBXK8XgEZzHGnroag>

神戸アイライト協会のホームページはこちらです。

<https://eyelight.eek.jp/>

2024/11/22・使っていますか！？ Podcast や radiko などの音声メディア・参加者：159 人

テーマは井上直也さんによる「使っていますか！？ Podcast や radiko などの音声メディア」。日頃、皆様はどのようにニュースを確認しているでしょうか？

新聞やテレビ、ラジオが一般的ですが、iPhone で確認している方も多くなっています。ニュースにも Yahoo! ニュースや NHK NEWS 防災に代表されるテキスト系のニュースアプリと Radiko や NHK ラジオ・ Podcast のように音で聞く音声系アプリがありますが、11 月はこの音声系のアプリ、すなわち音声メディアについてご紹介と解説をしていただきました。

紹介するアプリはこちらからダウンロードできます。

- ・ Podcast

<https://apps.apple.com/jp/app/apple-p...>

- ・ radiko

<https://apps.apple.com/jp/app/radiko/...>

- ・ NHK ラジオ らじるらじる

<https://apps.apple.com/jp/app/nhk%E3%...>

- ・ らくらじ 2

<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%82%...>

- ・ FM プラプラ

<https://apps.apple.com/jp/app/fm%E3%8...>

- ・ やまさんのもり web サイト

<https://yama3nomori.jp>

2024/12/23・1 年の振り返り、進化するデジタル社会について・参加者：140 人

12 月は今年を振り返ってデジタルで便利になったことや話題となったトピックを思い出しながら進化するデジタル社会について話しました。みなさんはデジタルでどんな変化がありましたでしょうか。

2025/1/27・ポジティブに柔軟に挑戦し続ける、谷口真大さん・参加者：146 人

ゲストとして谷口真大（たにぐちまさひろ）さんをお迎えしました。谷口さんは 2 歳の時に小児がんにより視力を失い、現在は「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」において、アテンドとして活躍しています。また、視覚障害者を演じる俳優の所作指導など、多岐にわたる活動をされています。さらに、2013 年から 2021 年の間は陸上競技日本代表のブラインドランナーとして活躍。現在は陸上競技を引退され、一児の父親として育児と仕事の両立をされています。視覚障害者ならではの子育ての工夫や日常について YouTube や note で発信も行っています。

気ままな全盲パパ / ぐっちイズム

<https://www.youtube.com/channel/UCUVTWo8XAHclIdxxdaitrVA>

2025/2/24・iPhone の機能が追加された留守番電話とボイスメモの解説・参加者：177 人
井上直也さんに「iPhone の機能が追加された留守番電話とボイスメモの解説」をしていただきました。

iOS が 18 に上がり留守番電話に新機能が追加されました。

また視覚に障害があるとメモを取るのが難しいため、IC レコーダーやリンクポケットを持ち歩いている方も多いと思います。

iPhone に最初から入っているボイスメモアプリを上手に使いえば便利さは増すと思います。今回は、留守番電話の新機能とボイスメモを同時に解説していただきました。

ボイスメモアプリは下記からダウンロードいただけます。

<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%83%9C%E3%82%A4%E3%82%B9%E3%83%A1%E3%83%A2/id1069512134>

2025/3/24・ついに登場！Apple Intelligence の可能性・参加者：206 人
Apple の生成 AI「Apple Intelligence」が、いよいよ日本でも利用可能になります。新しい iPhone 16e の発売も始まり、対応機種も広がっています。
この革新的な AI を活用すると、私たちのデジタルライフはどう変わるのでしょうか？
iPhone がより パーソナルなアシスタントになり、視覚障害者にとってもさらに使いやすく、便利なデバイス へと進化する可能性があります。

(総評)

視覚障害支援に関わる先人たちとの生い立ちやテクノロジー活用の具体例を通して、障害を克服していくライフスキルを学べる。引き続き基本的な iPad や iPhone の使い方やアクセシビリティの設定指導等と合わせて視覚障害の枠を超えたスペシャルゲストとのさらなる深掘り対談やさまざまなテーマを設定して変化に飛んだ対話会を継続していく予定です。

●NEXT VISION セミナー

2024/12/2 第 11 回 NEXT VISION セミナー「再生医療元年～治療からロービジョンケアまで」

講師：高橋 政代

参加者：401 人

内容：我々が開発している iPS 細胞由来の網膜色素上皮 (RPE) 細胞移植は剤形を進化させ、安全でよい治療になったと思います。また、数年前から多くの網膜専門の眼科医の先生たちと治療に関して検討する「RPE 移植研究会」を開催し、今年度からはその中で治療を実際に行う病院や患者さんを紹介してくれる病院を募っています。

再生医療を国内外に広めるためには、医師にその治療の説明をしていただく必要がありますが、現在、説明できるのは世界でも神戸アイセンター病院の医師のみです。そこで、再生医療の説明をするために生成 AI ソフトを作りました。さらに、NEXT VISION で蓄積されているロービジョンケアのノウハウ、ここでしかできない様々な治療と組み合わせるケアをどこでもできるような仕組みの検討を始めています。

再生医療だけで視覚障害の方のすべての希望がかなえられるわけではありません。だからこそ、ロービジョンケアの重要性が増してきます。本セミナーでは網膜再生医療から生成 AI、ロービジョンケアまで進捗状況と今後の展望についてお話させていただきました。

(高橋政代)

●企業向けセミナー

2 件

●研修

9 件 (専門学校、高校、患者団体など)

●見学

46 件 (患者団体、企業、個人など)

●「私の見え方・見えにくさ」伝え方講座

本講座は少人数の対面での講習であり、新型コロナウイルス感染拡大対策継続のため開催できませんでした。

●寄り添い方講座

本講座は対面での講習であり、新型コロナ感染拡大対策継続のため開催できませんでした。

●第6回視覚障害者雇用の未来を考えるフォーラム

会場参加者：25人、オンライン参加者：78人

会場参加も含めハイブリッド形式で下記のとおり開催し、後日動画も公開しました。

タイトル：第六回神戸発、視覚障害者雇用の未来を考えるフォーラム

「産業医との付き合い方、相談の仕方」

～自らの執務環境改善の為に上手く付き合いましょう～

内容：第1部 就労体験発表（3名）

第2部 パネルディスカッション

日時：2024年11月23日（祝・土）13時00分～16時00分

会場：中山記念会館 1階 大会議室 〒652-0802 神戸市兵庫区水木通2丁目1番9号

主催：社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、特定非営利活動法人神戸アイライト協会、視覚障害者就労相談人材バンク、公益社団法人 NEXT VISION

協力：社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会、一般社団法人神戸市視覚障害者福祉協会

●視野障害者の安全運転支援プロジェクトセミナー

視野障害者の安全運転支援プロジェクトの啓発活動として下記セミナーの開催に協力しました。

開催日：2024年10月29日（火）19:00～20:00 移動貧困社会からの脱却～安全で心豊かな暮らしを実現するモビリティとは～

講師：楠田悦子さん

内容：クルマの自動運転技術など、乗り物の技術は着実に進歩している一方で、高齢者による自動車事故がニュースで取り上げられ、免許を返納したくても移動の代替手段がないなど、日本の社会はまだまだ移動の仕組みが不完全な「移動貧困社会」といえます。

セミナーではモビリティジャーナリストとして活躍する楠田悦子さんをお招きし、MaaSやスマートシティ、様々な社会課題への国内外の取材や活動を通して考えた、歳を重ねても障がいがあっても、安全で自由な移動に困らない、心豊かな暮らしと社会のための「モビリティ（移動手段）」についてお話しいただきました。

開催形式：オンライン

参加人数：129人

開催日 2024年12月13日（金）20:00～21:00 視野障害者に今の運転支援システムはどれだけ役に立つの？～体験試乗会実施報告～

講師：伊藤 誠さん

内容：自動車の運転支援システムが持つ機能や性能は今も進化を続けています。

2023年度につづき、今年度も視野障害をお持ちの方に最新の運転支援システムを体験してもらう会を開催し、このセミナーでは、体験試乗会の様子を伊藤誠先生にご報告いただきました。また今回体験していただいた方に感想や要望をお聞きしました。

開催形式：オンライン

参加人数：103人

開催日：2025年3月15日（土）10:00～11:00 内障って、どんな病気？眼底検査って、どんな検査？～安全運転に必要な、ためになる話～

講師：國松志保さん

内容：国内の失明原因で最も多いといわれている緑内障。日本では40歳以上の20人に1人が緑内障であると報告されています。緑内障はゆっくり進行し、痛みもなく、多くの場合は末期になるまで中心視力が保たれ、自覚症状がありません。そのため、視野狭窄があることに気づかず車の運転を続けるケースがあります。緑内障は定期検診などで病気を発見し、治療を行うことにより、進行が遅くなり、失明する怖い病気ではありません。また、安全に運転を続けるためには、自分の見え方を知ることが大切です。本セミナーでは、國松志保先生よりドライビングシミュレータを使用して安全運転の指導をしている「運転外来」の最新のデータを紹介しながら、緑内障についてお話いただきました。

開催形式：オンライン

参加人数：77人

(総評)

ビジョンパークや外部の会場を使ったセミナー、見学研修を行いました。コロナ感染対策として始めたオンラインを活用したセミナーを継続したことで、居住地に関係なく、すべての方が情報を得る機会を提供することができたと考えます。さまざまな立場の人々が必要とする情報や知識を適切なタイミングで提供できるよう、次年度以降もセミナーや見学研修を予定しています。

3) ネクストビジョン歌会

今年度は開催するための資金確保がかなわず、実施できませんでした。次年度は補助金の申請を行うなど資金を獲得し、実施したいと考えます。

(2) 当事者向け体験事業

見えない・見えにくい方を対象として、スポーツや映画鑑賞など様々な文化体験をしてもらい、晴眼者と同じように趣味や生きがいを見つけて社会生活を楽しむ機会を設けることで、見えない・見えにくい方の社会復帰、社会の戦力化を支援する活動等を行いました。

1) e スポーツ 第5回 G-1 グランプリ

ゲームは今や、単なる娯楽を超え、人と人をつなぐコミュニケーションツールとして進化しています。その可能性の一つが「アクセシビリティ」。障害の有無に関係なく、誰もが同じフィールドで楽しめる世界が広がっています。今回のG-1グランプリは、ゲームの楽しさとアクセシビリティの可能性を多くの人に知ってもらうイベントとしてゲストとして株式会社バンダイナムコスタジオさんにお越しいただき、開催しました。

日時：2025年3月15日（土）13:00～16:30

プログラム：1. G-1 グランプリ投稿作品紹介

2. スペシャル対談「格闘ゲームに求められるアクセシビリティ」

ゲスト：株式会社バンダイナムコスタジオ

3. 結果発表と講評

参加人数：会場（神戸アイセンター・ビジョンパーク、関係者のみ）14名、オンライン

参加者：34名、動画エントリー：15名

賞名・受賞者名 G-1 グランプリ作品賞 いちほまれ

バンダイナムコ賞 おかわり

NEXT VISION 賞 ひー

キッズ作品賞 haru

主催：公益社団法人 NEXT VISION、特定非営利活動法人 Inclusive Fellowship
Promotion、視覚障がい者ライフサポート機構 “viwa”
協賛：株式会社バンダイナムコスタジオ、株式会社 Studio Gift Hands



投稿作品にコメントするバンダイナムコの方々



スペシャル対談「格闘ゲームに求められるアクセシビリティ」の様子



G-1 グランプリ作品賞に輝いたいちほまれさん

(総評)

社会処方の一環として、ゲームを通じたコミュニケーションや社会参加を支援する本企画は、視覚障害者や肢体不自由の当事者によるアイデアの共有から始まり、ゲームが持つ社会性や教育的効果について対話を通じて学ぶことを目的としています。

第 5 回目の開催となる今回は、ゲーム開発企業と連携し、実際のゲームにおけるアクセシビリティ向上に向けて、当事者の声を直接届ける機会を創出することができました。また、開発者の皆さまには、当事者のゲームに対する熱い想いや、当事者ならではの視点に基づく「処方」を提供することができました。

今後は、本企画を通じて得られた知見をゲーム関連のシンポジウム等で発信し、ゲームのアクセシビリティ向上を通じて、誰もがゲームを楽しめる世界——すなわち、世界平和の実現を目指してまいります。

2) クライミング

今年度は新しいクライミングの実施形態として、NPO 法人モンキーマジックにご協力いただき、地元企業のクライミングサークル活動を行いました。

開催日時：2024/11/8（金）17:00～20:00

2025/2/21（金）17:00～20:00

参加人数：各日 30 人

（総評）

サークル活動を通じて、これまでクライミングをしたことがなかった方、神戸アイセンターを知らなかった方、視覚障害について知らなかった方が集うことで、新たな人脈につながったと考えます。

また、兵庫県障害者スポーツ協会、モンキーマジック、クライミング事業者などと兵庫県下におけるパラクライミングの普及、啓発活動についてミーティングを行い、今後、協力しあうことを確認しました。

今後も NEXT VISION による主催イベントだけでなく、他機関・団体によるクライミングイベントの実現に向け、開催可能性を探ります。

3) 体幹トレーニング

講師：山野上 優先生

今年度は講師である山野上優さんの主催イベントとして開催していただいたので、NEXT VISION としては実施しませんでした。

4) チャレンジド・ヨガ

2024/6/37 椅子ヨガ 参加者：20 人（オンライン参加含む）

2024/11/21 椅子ヨガ 参加者：16 人（オンライン参加含む）

（総評）

チャレンジド・ヨガの協力を得て、ハイブリッド形式で開催しました。オンライン参加者は外出することなく自宅で気軽に楽しめただけでなく、病院にいられていた患者さんがヨガに興味を持つきっかけになりました。

5) 視覚活用訓練

毎月主として第四金曜日にビジョンパークで原田理事が行っている訓練事業です。午前を再診枠、午後を初診枠として設定し、初診 14 名（昨年度 13 名）、再診のべ 37 名（昨年度 28 名）に対して、有償で訓練を行いました（前年比 124%）。対象者の主な眼疾患は、網膜色素変性（22 名）、緑内障（9 名）等による視野欠損と黄斑変性（2 名）等による中心暗点でした。保有視野を有効に活用するためのノウハウについて紹介し、目を動かしながら、そのコツを体得するトレーニングを行なっています。また、これまでの実績を集計し相談内容についてまとめました。

（総評）

少しずつ再診の方が増えているのは、その有効性によるところが大きいと思われます。本事業を通して、参加者の方には、それまでに自覚していなかった保有視覚を認識し、生活上の安全と安心を獲得できたと喜ばれています。次年度には、集計された実績について

論文の形で発表することを予定しています。

(3) カウンセリング事業

1) ロービジョンの集い

内容：見えない・見えにくい当事者を中心にご家族や支援の専門家などが集まり、日常生活での困りごとや情報の共有を行うほか、誰もが気軽に相談ができる集いの場を下記のとおり、提供しました。

【開催方法】 オンライン

【対象】 視覚障害者、ご家族、その他一般の方などどなたでも参加可能

【開催回数】 毎月1回、計12回

2024/4/30 第137回「神戸パラ陸上大会開催直前企画！みんなでパラスポーツを語ろう！！」

参加者：63人

内容：2024年5月17日から神戸市で世界パラ陸上大会が開催されました。東アジアではじめて開催される大会ということで盛り上がり、夏にはパラリンピックもありました。陸上競技だけでなく、注目度が高いパラスポーツ。眼が見えなく、見えにくくなってスポーツができるの？と思っている方がいるかもしれませんが、競技としてだけでなく、趣味としてスポーツを楽しまれている方が大勢います。今回はNPO法人日本視覚障害者柔道連盟 会長、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 副会長などを務める初瀬勇輔さんをお迎えして、パラスポーツについてお話いただきました。誰もが楽しめるスポーツから広がる共生社会について、みんなで考えながら世界パラ陸上大会やパラリンピックを楽しんでいただけたらと思います。

2024/5/28 第138回「こころとからだの健康を考える集い」

参加者：15人

内容：ゴールデンウィークが終わると次にやってくるのはジメジメした梅雨と暑い夏ですが、体調を整えて元気に乗り越えたい！ということで、今回はみなさんが普段の生活の中で行っている健康法や食事の工夫、レクリエーションなどについてお話ししました。

2024/6/25 第139回「インクルーシブデザインで「誰もが使いやすい」のその先へ

参加者：123人

内容：視覚障害者歩行テープ「ココテープ」、持って出掛けたくなる白杖「ミズノケーン」、ソニー「XR キャッチボール」など、みなさんも一度は目にしたり、耳にしたことがあるのではないのでしょうか？

今回はこれらの開発に関わった、PLAYWORKS 株式会社 タキザワケイタさんをお迎えして、多様なリードユーザー（未知の未来に導いてくれる人）との共創からイノベーションを創出する、インクルーシブデザインについてお話をお聞きしました。

2024年5月に発売を開始した「ココテープ」の開発秘話だけでなく、視覚障害の見えにくさを擬似体験できる「ロービジョン体験キット PLAYWORKS モデル」についてもご紹介いただきました。

タキザワケイタさんからご紹介のあったリンク

2024/7/30 第140回「将来の夢や進路を考える集い」

参加者：14人

内容：将来の夢が見つかった人も、まだ見つかっていない人も、これからゆっくり考えよ

うと思っている人も、どなたでも参加できる会を開催し、どうすれば自分らしい夢を見つけて、ワクワクする人生を送れるかみんなで一緒にお話しました。

2024/8/27 第 141 回「パラリンピック応援企画・みんなでスポーツを楽しもう！」

参加者：53 人

内容：パラリンピックの起源は 1948 年、第 2 次世界大戦で主に脊髄を損傷した兵士たちのリハビリの一環としてロンドン郊外のストーク・マンデビル病院内で開かれたアーチェリーの競技会です。

日本では 1964 年に東京パラリンピックが開催され、各国の選手たちがさまざまな障害がありながらもスポーツをする姿に感動したことをきっかけに、障害者スポーツが広がりました。スポーツと言っても競技、趣味、健康維持など、目的はさまざまです。今回の集いでは、どんなスポーツがあるのか、どこでできるのか、どうすればできるのか、などスポーツについてお話しました。

2024/9/24 第 142 回「家事や趣味を楽しむ集い」

参加者：15 人

内容：いろいろな道具や方法、アイデアで家事を楽にこなしたり趣味を楽しむことができます。ちょっとした工夫や便利グッズ、おすすめの趣味について参加者全員で情報交換しました。

2024/10/23 第 143 回「日本発「あしらせ」の魅力に迫る！～機能、特長、今後の展開まで～」

参加者：110 人

内容：株式会社 Ashirase（あしらせ）の千野歩さんをお迎えして、2024 年 10 月秋から一般販売を開始した靴に装着するセンシング機器とアプリで視覚障害者の移動を支援するシステム「あしらせ」についてお話をお聞きしました。

株式会社 Ashirase はホンダ発の会社でありながら、「あしらせ」には自動車の技術をそのまま活用しているわけではないそうです。

でも、ホンダで学んだコンセプトや哲学などはしっかり継承されていて、顧客の声を聞き続け、製品開発を進めたことで今回の一般販売が実現しました。

センシングデバイスにとどまらない「あしらせ」の機能、特長、今後の展開など千野さんのお話だけでなく、参加者のみなさんからの質問にもお答えいただきました。

2024/11/26 第 144 回「人生を語り楽しむ集い」

参加者：16 人

内容：日常生活や仕事を通じて蓄積してきた経験やノウハウを共有してさらに豊かな人生を送りましょう！ということで、ご自身の体験談、最新情報の提供など参加者のみなさんのお話をお聞きしました。

2024/12/21 第 145 回「理系の仕事・勉強をしているひと大集合！」

参加者：13 人

内容：見えなく、見えにくくなると仕事や生活の中で困り事ができるけれど、さまざまな方法や道具を使って解決しているという話はよくお聞きします。

そこで今回は、特に理系の仕事や勉強をしているか方から

- ・グラフや図形の書き方や読み方
- ・論文の検索方法や効率的な書き方、フィギアの入力方
- ・データの解析や整理の仕方

- ・実験の仕方
- ・実験画像の見方、確認方法

などなど、理系のみなさんの工夫やアイデア、独自に編み出した方法やプログラム、AIの活用方法などについてお話をお聞きしました。

2025/1/28 第146回「見えない、見えにくい子どもさんを持つ親の集い」

参加者：8人

内容：こどもが教科書が読みにくくなってきたけれど、どんな器具を使えばいいの？テストはどうやって受けたらいいの？通学が不安だけど、ひとりで大丈夫？など、いろんな疑問や不安があると思います。学習のことだけでなく日常生活の工夫などもお話しました。

2025/2/26 第147回「大阪・関西万博を楽しもう！」

参加者：66人

内容：2025年4月13日に開幕する大阪・関西万博について参加者のみなさんがテレビやラジオ、公式サイトなどを通して知ったこと、実際に体験したことなどをお話しました。
チケット購入のための事前登録の方法やチケットを購入、予約したという体験談やコツ、万博グッズ、万博会場で食べられる世界のお料理の話題など盛りだくさんでした。

2025/3/25 第148回「仕事や家族のことを考える集い」

参加者：17人

内容：職場や日常生活での工夫やアイデア、周囲の人との関わり方や合理的配慮の求め方など、知っている仕事や生活がしやすく、生活が楽しくなる情報を共有しました。

「ロービジョンの集い」の過去のレポート、動画は下記よりご覧ください。

<https://nextvision.or.jp/%e3%83%ad%e3%83%bc%e3%83%93%e3%82%b8%e3%83%a7%e3%83%b3%e3%81%ae%e9%9b%86%e3%81%84/>

(総評)

昨年度に引き続き、「ロービジョンの集い」はオンラインで開催しました。オンラインでの開催は、いつでも、どこからでも、参加する気持ちさえあれば参加できる点がメリットで、移動の心配ありません。

ただし、オンラインに慣れていない方にとっては、本来の目的である生活での困りごとや悩みを誰もが気軽に相談ができるという雰囲気が失われてしまう可能性があるため、オンラインであってもできるだけ話しやすい環境を作り、心理的安全性が担保できるように努めました。また、年6回の決まったテーマ以外は、その時に求められているテーマを選択しており、今後も必要な情報に、必要な時につながるように、対話の機会を提供したいと考えています。

2) 相談コーナーの運営

神戸アイセンターでは、「神戸アイセンター病院×ビジョンパーク連携カード」という連携カードによって神戸アイセンター病院の医師や視能訓練士、看護師などがロービジョンに関する情報提供が必要と感じたときに連携カードを発行する取り組みを行っています。

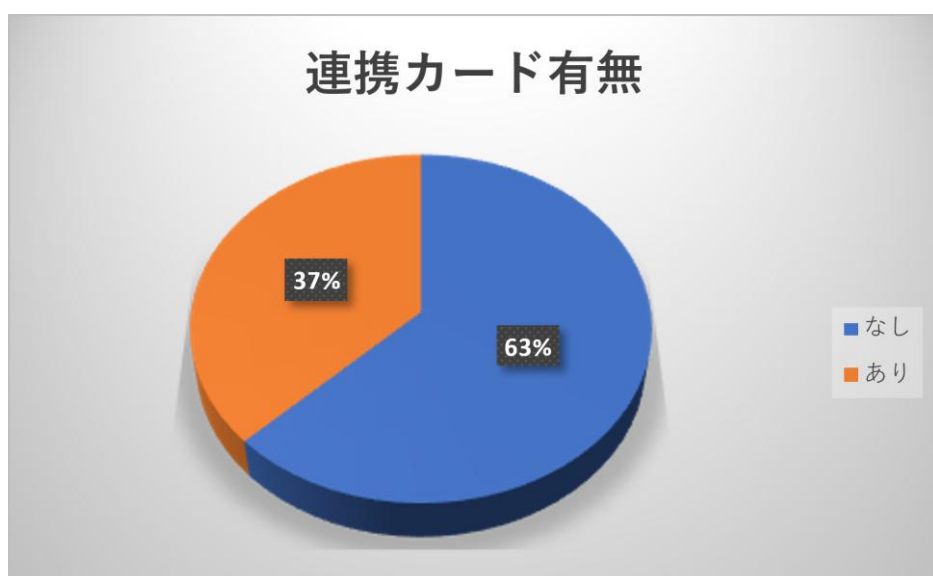
2024年度も昨年度に引き続き、対面による相談だけでなく、オンラインを活用した相談を支援機関・教育機関と連携して行いました。

	2024									2025			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カードあり	37	27	32	44	34	35	33	32	22	18	38	28	380
カードなし	57	41	50	49	49	65	50	60	58	48	56	56	639
小計	94	68	82	93	83	100	83	92	80	66	94	84	1,019

(表 1) 相談件数 単位：件

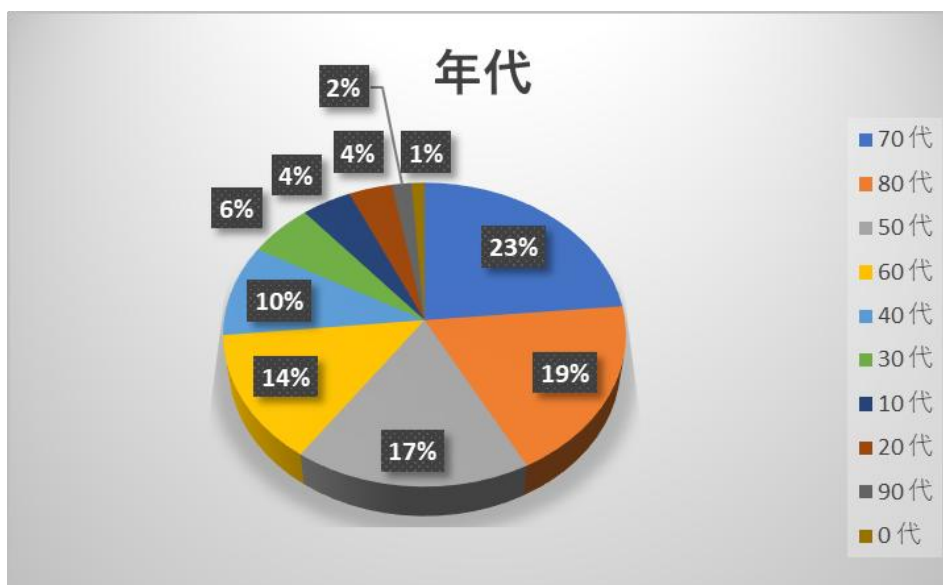
2024 年度の相談件数は、連携カードありの相談が 380 件、連携カードなしの相談が 639 件、合計 1,019 件となりました。(表 1)

連携カードによる相談と比べ、連携カードなしの相談が多いという傾向は前年同様となっており、病院からの連携カードによる紹介がなくても相談に訪れる方への情報提供ができています。



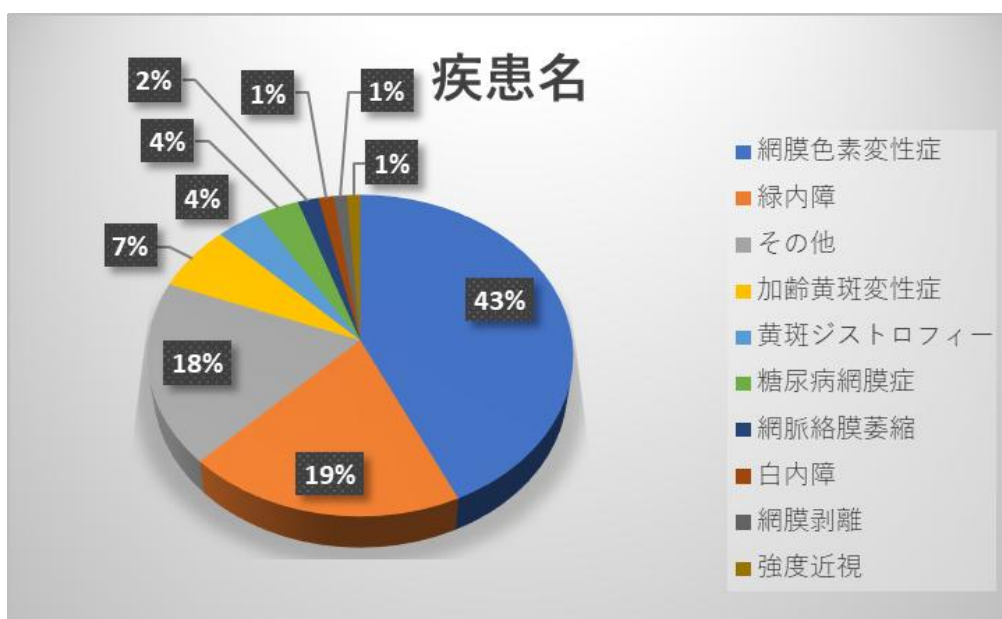
(図 1) 連携カード有無による相談件数 (割合)

対応した相談者の年齢については、60 歳代が 14.0 (前年 18.9) %、70 歳代が 23.0 (前年 20.9) %、80 歳代が 19.0 (前年 19.1) %、90 歳代が 2.0 (前年 2.9) %となっています (図 2)



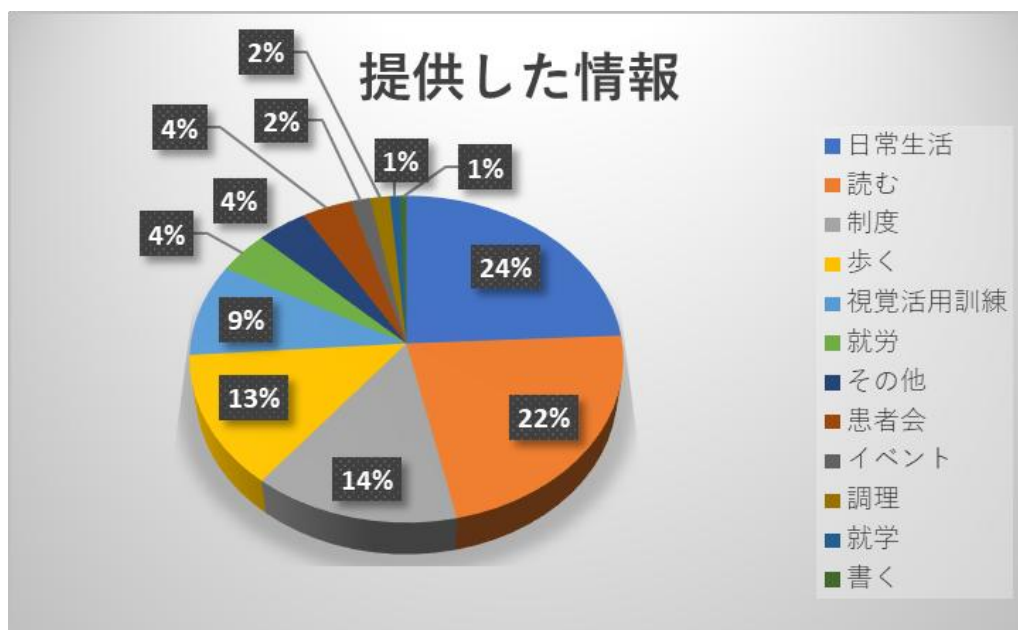
(図 2) 相談者の年代 (割合)

対応した疾患は網膜色素変性が 43.0 (前年 39.3) %、緑内障が 19.0 (前年 24.7) %で、網膜色素変性が増え、緑内障は減ったものの合計では全体の 6 割を超えました。(図 3)



(図 3) 相談者の疾患名 (割合)

相談を受けて提供した情報の内容は多岐に渡りますが、日常生活に関する相談が 24.0 (前年 29.9) %、読みに関する相談が 22.0 (前年 20.0) %、身体障害者手帳や障害年金など制度に関する相談が 14.0 (前年 14.6) %、歩行に関する相談が 13.0 (前年 12.4) %でした。(図 4)



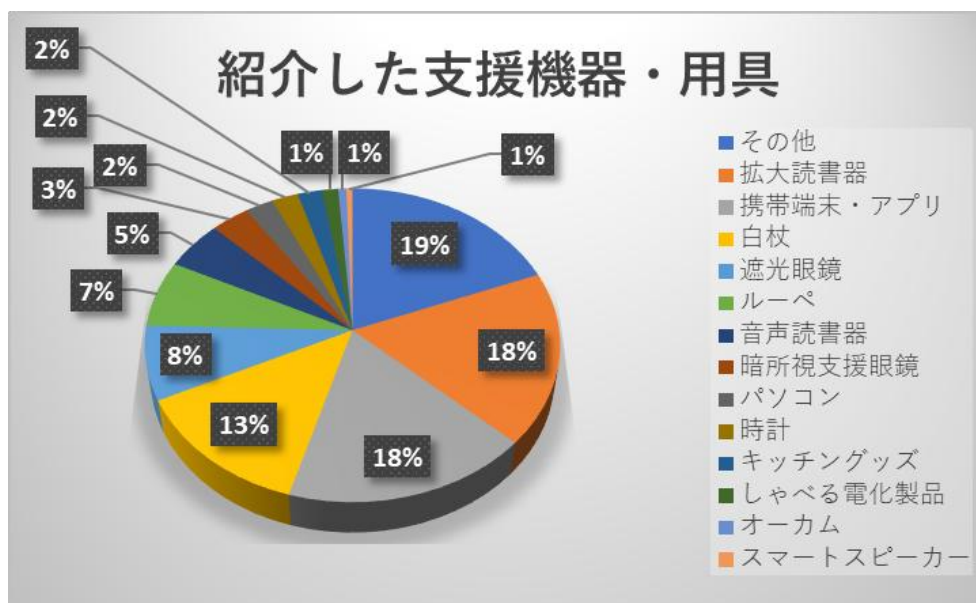
(図 4) 相談で提供した情報の内容 (割合)

それぞれの相談件数は表 2 をご参照ください。

提供した情報	件数
日常生活	317
読む	293
制度	184
歩く	173
視覚活用訓練	120
就労	55
その他	54
患者会	53
イベント	21
調理	21
就学	11
書く	7

(表 2) 相談で提供した情報の内容 (単位 : 件)

相談を受けて紹介した支援機器や用具は、携帯端末・アプリが 18.0 (前年 19.4) %、拡大読書器が 18.0 (前年 17.2) %、白杖が 13.0 (前年 13.5) %でした。(図 5)



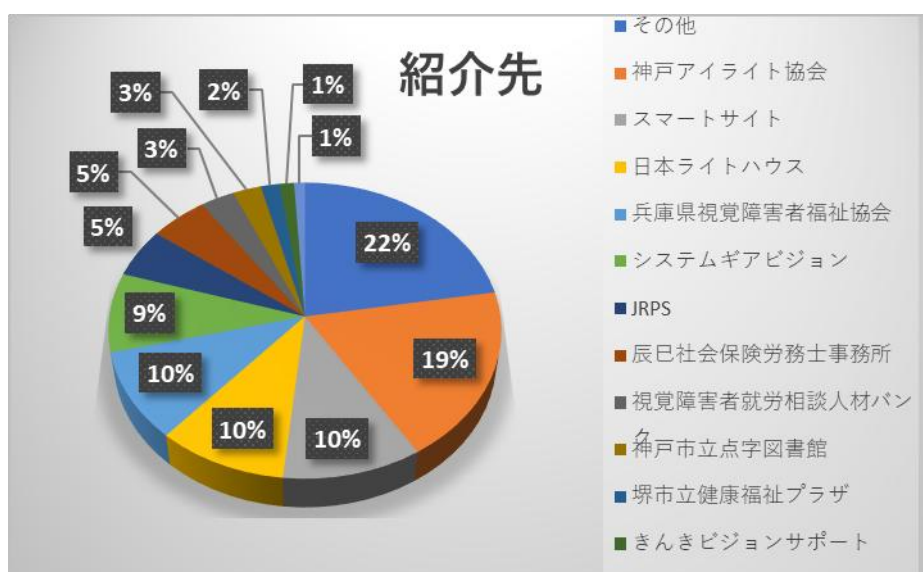
(図5) 紹介した支援機器・用具 (割合)

支援機器・用具それぞれの紹介件数は表3をご参照ください。

紹介した支援機器・用具	件数
拡大読書器	206
携帯端末・アプリ	204
白杖	154
遮光眼鏡	88
ルーペ	79
音声読書器	58
暗所視支援眼鏡	38
パソコン	28
時計	26
キッチングッズ	24
しゃべる電化製品	16
オーカム	8
スマートスピーカー	6
ドライビングシミュレーター	4
その他	215

(表3) 紹介した支援機器・用具 (単位: 件)

なお、表2、表3はそれぞれ件数ですが、相談者の困りごとや悩みが一つではなく重複しているおり、このように多岐に渡る相談内容に対応するため、下記の支援機関や団体をご紹介しました。(図6)



(図6) 紹介した支援機関・団体 (割合)

相談者は支援機関や団体につながることでご自宅に戻られてからもお住いの地域で必要な支援やサービスを継続して受けることが可能となります。

神戸アイセンターでは神戸市にお住まいの方には神戸アイライト協会、神戸市以外の兵庫県にお住まいの方には兵庫県視覚障害者福祉協会や日本ライトハウスを紹介することが多くなっています。(表4)

また、全国から来られている患者さんに対しては各都府県の眼科医会が中心となって発行しているスマートサイトを必ずお渡しして、必ず居住地の支援機関につながるよう情報提供を行っています。

スマートサイトは各都府県で内容は異なりますが相談窓口が記載されており、この情報をきっかけに、必要な支援・サービスを受けることができますと考えます。

紹介先	件数
神戸アイライト 協会	213
スマート サイト	119
日本ライト ハウス	111
兵庫県視覚障害者福祉協会	110
システムギアビジョン	98
JRPS	61
辰巳社会保険労務士事務所	59
視覚障害者就労相談人材バンク	35
神戸市立点字図書館	29
堺市立健康福祉プラザ	19
きんきビジョンサポート	15
国立神戸視力障害センター	11
兵庫県立視覚特別支援学校	6
タートルの会	3
神戸市立盲学校	1
その他	243

(表4) 紹介した支援機関・団体 (件数)

また、アウトリーチ活動として支援機関や団体がビジョンパークで直接相談を受けつける相談コーナーは12機関・団体が計302回開設しました。(表5)。

相談コーナーの開設回数は前年の289回から約16%減の243回となっていますが、支援機関に出向くことに抵抗のある患者さんやわざわざ行くのは面倒だという方には神戸アイセンター病院の行き帰りに相談できる手軽さが喜ばれています。

団体名	実施回数
網膜色素変性症協会(ピアサロン)	42
神戸アイライト協会(生活・就労相談)	23
日本ライトハウス情報文化センター(生活相談・サピエ体験)	12
神戸視力障害センター(生活・就労相談)	10
Gラウンジ(iPhone/iPad相談)	22
神戸市立盲学校(教育・就労相談)	12
兵庫県立視覚特別支援学校(教育・就労相談)	22
きんきビジョンサポート(生活・就労相談)	12
神戸市立点字図書館(生活相談・サピエ体験)	23
兵庫盲ろう者友の会(生活相談)	9
システムギアビジョン(拡大読書器紹介)	29
視覚障害者就労相談人材バンク相談(就労相談)	86
合 計	302

(表5) 支援協力機関・団体と相談コーナー開設数(回)

(2) ロービジョン外来問診

相談の一部という位置づけでロービジョン外来の問診を事前に電話で行いました。

ロービジョン外来を予約されている患者さんの中で、神戸アイセンター病院の視能訓練士さんからご依頼を受けた方に診察の約1週間前にご使用の機器や補装具、ご要望、お困りのことなどをお聞きするもので、依頼数123名に対して問診を行った方は70名、電話がつかない、予約をキャンセルされた方が53名でした。(表6)

この問診はロービジョン外来での困りごとやニーズの聞き取り時間の短縮につながっているだけでなく、本業務を行う視覚に障害のある職員は神戸市が奨励する障害者の超短時間雇用での採用であり、障害者雇用の促進にもつながっています。

年月	依頼数	済	不通等
2024年4月	14	8	6
2024年5月	10	7	3
2024年6月	8	7	1
2024年7月	11	10	1
2024年8月	16	12	4
2024年9月	11	7	4
2024年10月	11	4	7
2024年11月	14	6	8
2024年12月	8	6	2
2025年1月	6	0	6
2025年2月	12	2	10
2025年3月	2	1	1
計	123	70	53

(表6) ロービジョン外来電話による問診数(単位:人)

(総評)

NEXT VISION は眼のワンストップセンターである神戸アイセンターを構成する一機関として、病気の治癒を目指す最先端の医療(cure)と同じレベルで、すべての人が自律して自身の人生を自らの意思で選択できることを目指す支援(care)を重要と考えます。

視覚障害の有無に関係なく、すべての方が知りたいと思う情報、知って欲しい情報を必要なタイミングでお知らせすることが情報障害者をなくすことにつながると考えており、今後も情報提供の促進に努めます。

視覚障害に対する理解を深め、誰もが暮らしやすい街づくりにつなげるために、今後もさまざまな方法で相談支援業務の充実を図ります。

(4) 研究開発事業

情報化社会が進む中で見えない・見えにくい方の生活・就労支援に寄与する最新テクノロジーに関する研究開発を行い、その成果を社会還元することにより、見えない・見えにくい方の社会復帰・社会戦力化支援に資することを目的とします。

1) 視野障害を有する者に対する高度運転支援システムに関する研究

本事業は、COI-NEXT(研究代表:東北大学眼科)による研究費助成事業の一環として行われているものです。眼球運動計測システムの一部を成す暗室で基礎実験を行なっておりますが、立命館大学での倫理審査が不調で、実際のデータ収集には至っておりません。

一方、同研究内の事業としてドライビングシミュレーターの普及を目指す一般社団法人VISION & MOBILITYの設立準備を行いました。

(総評)

直接の当法人事業ではありませんが、関連業務として協力して参ります。

2. 視覚障害者に対する間接支援事業（公益目的事業②）

（1）コンテスト事業

1) isee! "Working Awards"2025

「isee! "Working Awards"」は、「就労」に焦点をあて、視覚障害者（見えない、見えにくい人）がどのように働いているのか【事例】、また、どうすれば働けるのか、あるいはどんな働き方ができるか【アイデア】を募集しました。

応募された【事例】と【アイデア】を審査員に選んでいただき、広く社会に発信することで、視覚障害者の社会参加、就労、ひいては社会の戦力として働き、社会の損失を軽減させることを目的としており、今回は下記の通り、開催しました。

日時：2025/2/23（日）14:30～17:00

場所：灘五郷酒所 神戸市東灘区御影本町 3-11-2 剣菱酒造内蔵

共催：東北大学 COI-NEXT：「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワーメント社会共創拠点、立命館大学、公益社団法人 NEXT VISION

後援：公益社団法人 日本眼科医会

参加人数：会場 34 人、オンライン 75 人 合計 109 人

●isee! "Working Awards" 2025 受賞者 ※敬称略

【事例部門】

MEP（Most Effort Player）賞・日本眼科医会賞

片岡亮太

人生を丸ごと生かした「自分だからこそ」の働き方

MIP（Most Inclusive Player）賞

白井崇陽

全盲バイオリニストの演奏活動について

MIP（Most Inclusive Player）賞

高野紋子

専業主婦、競技経験ゼロからのアスリート雇用

MSP（Most Strength Player）賞

田中康文

漢方内科の医師

MSP（Most Strength Player）賞

NPO 法人みのり 領家グリーンゲイブルズ

視覚障害者による珈琲焙煎「僕らは耳で焙煎をする。」

入選

中嶋 琢 【企業ボランティア】社員×地域×社会貢献: アクセシビリティ向上の取り組み

鈴木 モーリッツ PC 操作時における補助機器としての MIDI コントローラーの利用

八巻 真哉 チームワーク、テクノロジーが生み出したスーパースペシャリスト

竹田 幸代 タンデム自転車で人の環広げるプロジェクト
相沢 浩貴 徐々に希望は挑戦

Most Inclusive Player 賞（周囲の協力を活用した事例）
Most Strength Player 賞（経験を強みとした事例）
Most Effort Player 賞（継続的な努力を重ねた事例）

【アイデア部門】

ビジネスプラン賞

NPO 法人みのり 領家グリーンゲイブルズ
視覚障害者向け、珈琲焙煎・バリスタ・アロマセラピーの宿泊型の研修施設を作る

価値転換賞・日本眼科医会賞

南部勇樹

高度なスキルを持つスペシャリスト障害者雇用の創出とマッチング

環境整備賞

山内 敦

ロービジョンコンシェルジュ ～「福祉の見える化」を目指した資格制度～

入選

村上 友香 喋る自動販売機

田中 望美 VTuber の動画配信による広告収入・投げ銭制度

泊 菜央 美味しさ探求

川東 勇輝 「音」を仕事に。

武田 果歩 災害時の自動音声案内

中島 香鈴 AI 知能向上のために

窪田 葵 繊細な音を聞き分ける点検のお仕事

佐堀 友香 第六感を使った職業～ヒーリングで人に癒しを～

林 茉友 視覚障害者がプロデュースする睡眠環境

宮崎 愛理 視覚障害者用の便利グッズ 実演販売

竹内 美羽 視覚障がい者でも使える自動精算機

高川 鮎美 触れるだけで新しい物に出会うことができる

山西 浩平 点字の学びやすい環境作り

山田 美典 ラジオパーソナリティ

小川 琴乃 視覚障がい者の職業について

小川 遥叶 味覚と嗅覚のプロフェッショナル

大石 桃華 声で役に立つ

●公開コンサルティング ※敬称略

ゲスト：剣菱酒蔵株式会社 代表取締役社長 白樫政孝

参天製薬株式会社 アブディン・モハメド



受賞者・審査員集合写真



受賞者集合写真

(総評)

本事業は東北大学 COI-NEXT :「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワーメント社会共創拠点事業として共催事業となっており、「できない」を「できる」にする仕組み作りのひとつです。就労事例を収集するだけでなく、新たな視点で職業・職域を開拓することが可能な事業として、本事業を通じて収集した就労事例やアイデアはプロジェクトに参画する企業の事業につながる可能性があります。

特に、2024 年 4 月に障害者差別解消法が改正され、企業にも合理的配慮が義務化されたことを受け、視覚障害者の就労にも関わる部分があることから合理的配慮に関する公開コンサルティングを開催しました。事前の質問や意見は 65 件で。想定していた企業からでなく視覚障害当事者からの意見が約 8 割であったことから合理的配慮の理解・定着が困難であることが垣間見えたと言えます。合理的配慮が義務化されたとはいえ、まだ企業側に認知されておらず、また、合理的配慮を求められる機会も少ないのではないかと思います。社会生活を送る上で合理的配慮は必要不可欠であり、企業と相談・調整するために、今後も啓発活動を行う必要があると考えます。

2) サンキューカードを使った周知啓発

見えない、見えにくい方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの仕方を一般の方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている視覚に障害のある方を見つけることを目的に配布しました。また、視覚に障害のある方を見つけ、必要な情報・支援につなげる活動を見えない、見えにくい視覚に障害のある方にお手伝いいただくことで活躍の場を広げる効果もあります。



おもて面

うら面

配布する地域は視覚障害者の活動地域となるため全国であり、昨年度に引き続き、団体等を通じて配布するほか、個人でご希望の方には郵送にて配布しました。

また、東北大学 COI NEXT「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワメント社会共創拠点を通じて配布を行いました。

(総評)

カードを受け取った一般の方にとっては、視覚障害者への声のかけ方や手引きの仕方を知る機会となり、社会貢献の一助となる可能性が生まれると考えます。

一方で、配布する側にとっては渡すタイミングが難しく、受け取る側がコロナ禍以降、直接手渡しする物に対しての抵抗感が残っていることもあり、配布枚数が減少傾向にあります。

次年度はサンキューカードをカードという形態ではなく別の形にするなど検討する必要があると考えています。

（５）講演・セミナー事業

１）被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー

２回計画したうち、１１月の回はこれまでと同様にビジョンパークを避難所に見立てて、スマートフォンのアプリを使つての移動（ナビタグ）、掲示物の判別の体験、さらに簡易トイレの設営や非常食の調理および手回し式の充電器の体験、遠隔音声ガイド（アイコンサポート）の体験を行いました。一方、２月の回は、これまでとは異なり、オンラインで、支援者を対象とした避難所体験運営者養成セミナーとして開催しました。１１月には２名、１１月には２団体（沖縄、千葉）の参加者がありました。

（総評）

神戸だけで行なっている、一度に体験できる人数には限りがあり、応募者が非常に少ないため、全国的な展開が困難です。しかし、社会的な意義は極めて大きく、他の事業体へも拡散できるような試みを行いました。今後もこの路線を踏襲し、全国に広げていくことを目指します。

２）ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート行間セミナー

本年度は改訂された「ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート第二版」をテキストとした有料 **web** セミナーを ６月から ３月までの毎月 １回、各章ごとの執筆者による講義を行いました。会員は 113 名となり、年会費として約 69 万円を得ることができました。

（総評）

今回で ５年目となる有料セミナーです。書籍の改訂により、再びベーシックな内容となったためか、参加数は伸びませんでした。講演内容が充実し、資料としての質が高かったと感じます。次年度は、有名どころの外部講師を多数招聘して、広がりのある内容で行う予定です。また、これまでの講演を文字起こしし、AI 相談の元情報として使用できるように準備する予定です。

３）ロービジョン支援ホームページの運用 （仲泊先生）

COI-NEXT の研究費助成を活用して、NEXT VISION のサーバー上に移設したロービジョンケアの用語説明と施設リンクを目的としたホームページ

(<https://nextvision.or.jp/shikakuriha/>) を維持運営しました。リンクされた施設情報の更新を随時行って参りました。予定した動画コンテンツへのリンクは準備のレベルです。

（総評）

安定したホームページ運用ができています。今後も、動画をコンテンツとし、そこへのリンクを豊富に持つページにさらに進化する方向で努めていく予定です。

4) 日本眼科医会連携

地方においては視覚障害者が最初に受診する可能性が高いのは地域の眼科クリニックであり、全国の眼科クリニックの開業医が所属する日本眼科医会と連携しました。引き続き isee! Working Awards での眼科医会賞の追加や日本眼科医会 HP との連携などを通して開業医の眼科医への情報発信を継続予定です。

(総評)

視覚障害者の最初のアクセス先である眼科の開業医が所属する日本眼科医会との連携は、視覚障害者を情報障害に陥らせないためにも大きな意義があります。引き続きさまざまな文脈で連携を深める予定です。

5) 視覚障害者体験 VR 研修

視覚障害者が周囲の人に自分が視覚障害者であり困難さを的確に伝えられない背景には、視覚障害の種類や困難さの多様性を周囲のメンバーが認識しにくい背景があります。VR を利用した教育コンテンツでは 1 人称で困難さを理解することができるため、支援者教育の強力なコンテンツとなり得るため、VR コンテンツの開発の指導を行い、教育ソフトを開発しました。

(総評)

今後は研修ツールとして実践活用予定です。2024 年 4 月からは民間企業でも合理的配慮の提供が義務化しており、社会的な話題性も高まっており今後本研修の社会的意義はより高まると感じています。

(6) 支援者向け体験事業

1) ウェルビーイングな社会実現への手法を学ぶ

豊かに生きるための知識と習慣の処方箋として、人生 100 年時代を人が健やかに生きるため、心と体がウェルビーイング（ご機嫌）になるための考え方や行動習慣などをウェルビーイングを実践する専門家に学び、対話を通して学ぶイベントを 2022 年に実施しました。2022 年のイベントで得られた知見を通して、平和な並話という対話法やルール作りを通してウェルビーイングのさらなる言語化を図る予定です。

(総評)

これまでに構築した医療、教育、福祉の領域をこえたつながりとウェルビーイングの言語化今後の施策の上位目標として掲げ、哲学対話を進めていく予定です。

2) TEAM EXP02025 共創チャレンジ企画 ナビゲーション・タグ（ナビタグ）で未来を変えるプロジェクト

本事業は TEAM EXP02025 共創チャレンジにプロジェクト名「ナビタグで未来を変えるプロジェクト」として登録しています。

<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/175>

ナビゲーション・タグ（ナビタグ）は、点字ブロックに情報を付加する二次元コードとスマホ用アプリを使ったシステムで、今年度は大阪・関西万博会場への敷設と広域利用を目指して、神戸（三ノ宮駅周辺）への敷設準備を行いました。

なお、大阪・関西万博会場には shikAI(シカイ)と NaviLens(ナビレンス)の2種類、神戸(三ノ宮駅周辺には) shikAI(シカイ)と NaviLens(ナビレンス)に加えてコード化点字ブロックを敷設する予定で、これが実現すれば世界初の複数のナビタグ敷設による実証実験となります。ナビタグを組み合わせて使用することで、それぞれのタグが持つ長所・短所を補完しあう、あるいは、効果を増強するための知見を得られる可能性があり、今後の普及・販売活動における重要な知見となりうると考えています。

大阪・関西万博会場での敷設は世界へ普及させる足掛かりとして、重要な契機となるはずで、敷設時の設置規格を統一することで使いやすくなるように、ガイドラインを作成し、誰もが参考にできるように公開しました。特に、大阪・関西万博会場への敷設にあたり、トイレ案内を重点的に調整・検証しました。

■旅客施設におけるナビゲーションタグ設置ガイドライン

<https://nextvision.or.jp/isee/navitag-project/>

また、ナビタグがどこにあるかわからないと使用できないというユーザーからの声を受け、どこで何を使用できるかを Google マップで閲覧できるように情報を公開しました。今後はナビタグ敷設者が設置時に随時登録を行うことになっています。

■ナビタグ MAP

https://www.google.com/maps/d/u/0/edit?mid=lvnx_Wt0k1kvoaw3E6LoGY098KXS4aNA&ll=34.62946981731832%2C135.34555135&z=11

(総評)

今後は、鉄道駅バリアフリー料金制度での敷設を実現するために、国交省所管のバリアフリーガイドラインにナビタグおよび旅客施設におけるナビタグ設置ガイドラインが採用されることが必至であり、今後のナビタグ普及拡大の鍵になると考えています。そのため、関係機関に働きかけを行います。

また、視覚に障害のある方だけでなく、一般市民にもナビタグ使ってもらい、便利さを

実感していただけるように普及を進める必要があり、2025年に開催される大阪・関西万博会場での利用促進、メディアへ働きかけなど広報活動を積極的に行う予定です。

(7) 出版事業

1) 「プライベートあい〜名探偵になってあげないゾ!〜」出版プロジェクト

小説あるいは漫画といった親しみやすい形で等身大の当事者を多くの人に感じてもらい、当事者の方には「視覚障害者だからこそ優れている能力がある」というバリアバリューに気づいてもらうことを目的として、出版事業に取り組みました。

しかし、出版社や広告代理店等に持ち込みましたが、実現には至っておらず、次年度以降も相談・交渉を重ねます。

3. 収益事業

(1) ビジョンパークを活かした情報発信

今年度は(2) 当事者向け体験事業 (2) クライミング で報告したように新しいクライミングの実施形態として、アクティブエリアを有料で貸し出し、一般企業との交流を図りました。

(2) 共同研究

テーマ：「ウェルビーイングを実現する未来型医療とケアの研究」

株式会社日立製作所様と NEXT VISION は、人生 100 年時代に向けて、一人ひとりが自律し選択できる医療、そして持続可能で全人的な医療、「ウェルビーイングを実現する未来型医療とケア」をめざすためのヒントを様々なゲストとの対話を通して探ってきました。

今回、「人生の意味を探る対話」第 5 弾として、下記のとおりトークイベントを開催しました。

「人生の意味を探る対話 Part5」

開催日時：2025/2/15（土） 18:00 - 19:30

開催形式：オンライン開催（神戸アイセンター・ビジョンパークよりライブ配信）

参加人数：350 人

内容：「人生の意味を探る対話 Part 5」では、ビジョンパークに人類学者の竹倉史人さんをお迎えし、私たちが世界をどのように認知し、生きる力へと変えているのか、人類の精神史と知の営みを俯瞰しながら、多様な視点からこれからの医療について語り合いました。

パネリストには、日立製作所様からは研究開発グループ技師長 兼 基礎研究センタ 日立神戸ラボ長の武田志津さん、神戸アイセンターから高橋政代、仲泊聡、三宅琢、和田浩一が登壇しました。

また、日立製作所の沖田京子さんがモデレーターを務めていただきました。

(総評)

NEXT VISION は病気の治癒を目指す最先端の医療（cure）と同じレベルで、すべての人が自律して自身の人生を自らの意思で選択できることを目指す支援（care）を重要と考えていますが、医療は新たな展望を拓きつつあります。本トークイベントでは今、医療がどうあるべきかを問い、考える機会となりました。特に人類学者の竹倉史人さんの人類の精神史、知の営みを通じた生命観、ご自身の体験についてのお話は世界の認知や自然の感覚、生きる力についての新たな知見となりました。

一人ひとりがそれぞれのウェルビーイングを実現するための全人的でインクルーシブな医療をめざす神戸アイセンターにおいて、ビジョンパークはそのプラットフォームとしての役割を果たし、社会全体のウェルビーイングにもつながるようなビジョンを発信していきたいと考えます。

4. 法人会計

(1) みんなで作るビジョンパーク会議

今年度は寄附、賛助会員、協賛パートナーのみなさまのご支援への感謝の気持ちを込めて下記の通り、大感謝祭を開催しました。

日時：2024/12/8（日）11:00～12:30

●開催方法：オンライン（zoom）

●内容：代表理事仲泊聡よりご挨拶

常務理事和田浩一より活動報告

スペシャルトーク（司会：副理事長三宅琢）「NEXT VISION10 周年 歩みと展望」

設立から10年を迎えたNEXT VISIONのこれまでの歩みと今後の展望について

（総評）

寄附者、賛助会員、協賛企業の方々にも報告書をお送りし、NEXT VISIONで実施している事業、活動内容を報告すると共にNEXT VISIONの活動やビジョンパークの役割を説明し、継続的にご支援をいただけるよう情報発信を行いました。今後も継続したご支援をいただくことで、法人の運営を安定させ、より多くの視覚に障害のある方と情報を必要とするすべての方への支援活動を行いたいと思います。

Ⅱ．法人運営

1. 理事会

第27回 令和6年6月26日

議題

1. 令和5年度の事業報告及び計算書類の承認
2. 理事の任期満了に伴う後任者選任
3. 社員総会の招集と議案

第28回 令和6年6月26日

議題

1. 理事長（代表理事）選定

第29回 令和6年7月16日

議題

1. 利益相反取引に関する承認

第30回 令和7年3月7日

議題

1. 令和7年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認
2. 出張旅費・交通費規程改定
3. 職務発明規程制定
4. 社員総会の招集と議案

2. 社員総会

第23回 令和6年6月26日

議題

1. 令和5年度の事業報告及び計算書類の承認
2. 理事の任期満了に伴う後任者選任
4. 役員報酬規程の改定承認

第24回 令和7年3月7日

議題

1. 令和7年度の事業計画及び収支予算・資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認